

豪州Robe River鉄鉱石JV事業

Robe Valley鉱山 Mesa B/C/H
West Angelas鉱山 Deposit C/D
開発案件

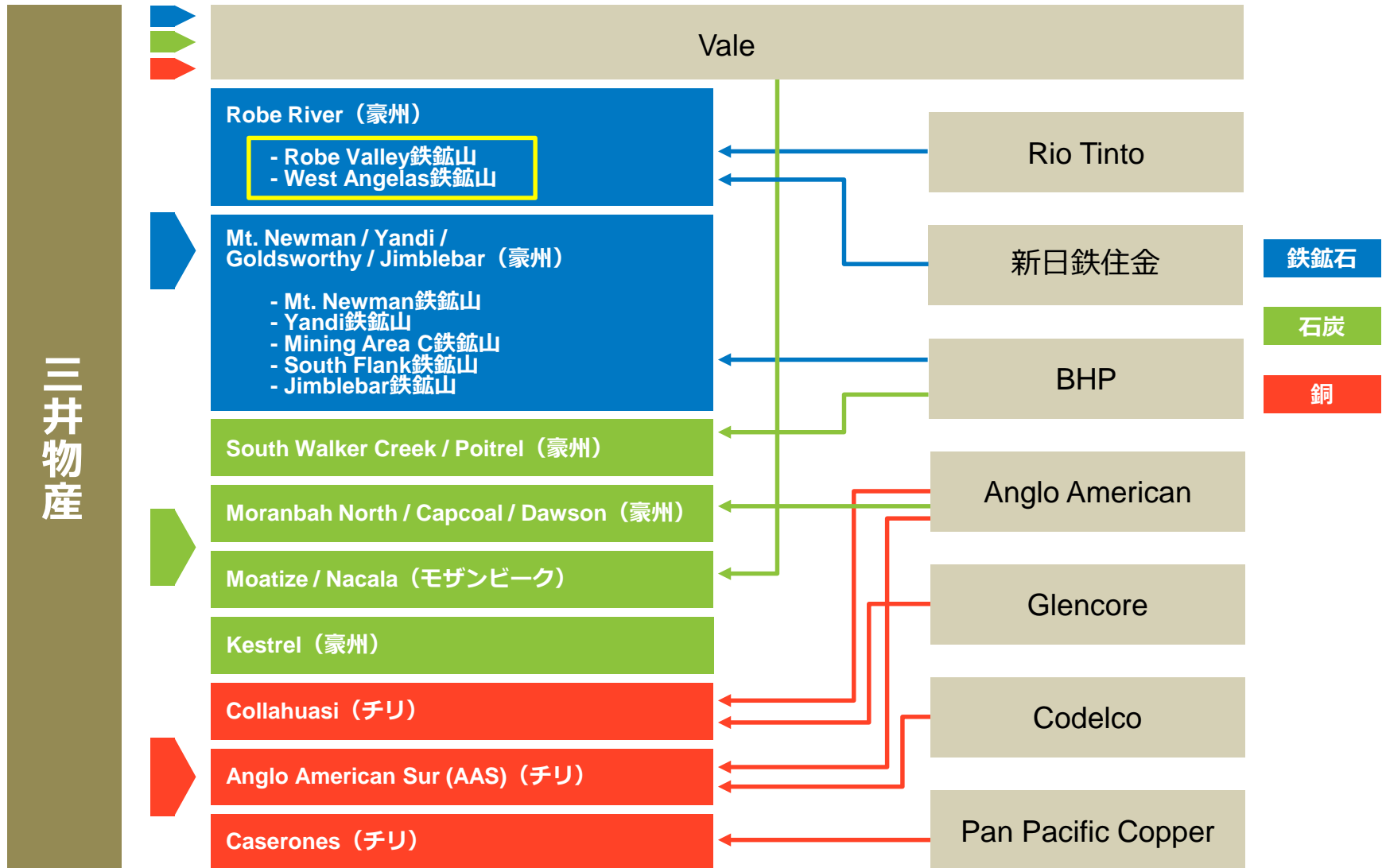


2018年10月10日(水)
三井物産株式会社

目次

1. 当社金属資源主要事業一覧
2. 本案件の概要
3. 本案件の特徴
4. 当社鉄鉱石事業戦略

1. 当社金属資源主要事業一覽



2. 本案件の概要

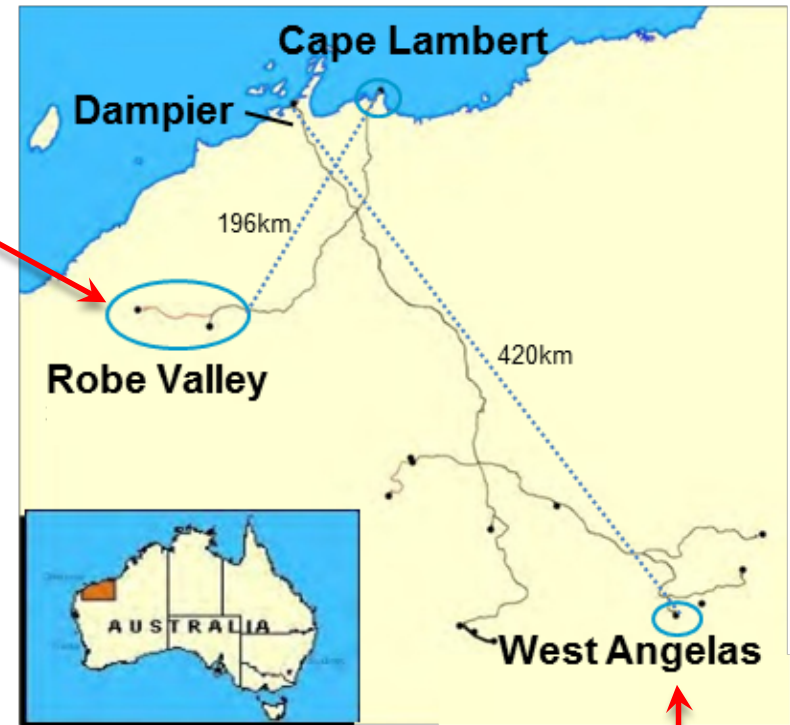
Robe River JV (Rio Tinto社53%、三井物産33%、新日鉄住金14%)として総額1,546百万米ドル(三井物産持分:510百万米ドル、約561億円)を投じて西豪州のRobe Valley鉄鉱山とWest Angelas鉄鉱山の未開発鉱区を開発。

① Robe Valley鉄鉱山 Mesa B/C/Hの開発

保有者: Robe River JV
 年間生産量: 31百万トン(2017年)
 操業中鉱区: Mesa A、Warramboe、Mesa J
 開発鉱区: Mesa B、Mesa C、Mesa H
 開発費用: 967百万米ドル
 (当社持分:319百万米ドル、約351億円)
 生産開始: 2021年

② West Angelas鉄鉱山 Deposit C/Dの開発

保有者: Robe River JV
 年間生産量: 34百万トン(2017年)
 操業中鉱区: Deposit A、Deposit B、Deposit F
 開発鉱区: Deposit C、Deposit D
 開発費用: 579百万米ドル
 (当社持分:191百万米ドル、約210億円)
 生産開始: 2021年



3. 本案件の特徴

- Robe Valley鉄鉱山Mesa B/C/H、West Angelas鉄鉱山Deposit C/Dは共に既存鉱区に隣接する未開発鉱区。
- 新規鉱区開発は既存インフラを活用し、既存鉱区からの生産量が減少していく中で鉄鉱石生産能力を維持。
- 既存の鉄道・港湾・発電能力を活用することで投資額を低減。
- シンプルで効率的な操業。新規鉱区開発に無人操業を導入。



4. 当社鉄鉱石事業戦略

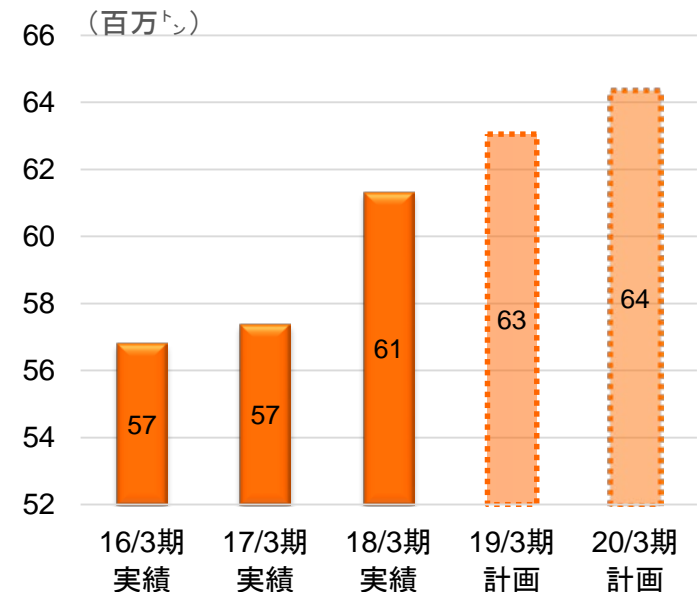
- 高いコスト競争力と豊富な鉱量を活かし、既存資産の拡張・良質化を軸に収益基盤を盤石化。
- 強力なキャッシュ創出力の下、更なる鉱量拡充・優良権益取得機会を追求。
- 三大メジャーとのパートナー関係強化、バランスの取れたポートフォリオ維持。

当社保有鉄鉱石資産

出資先・プロジェクト	国	18/3期 鉄鉱石生産量*	出資比率
Vale	伯	367百万トン [20百万トン]	5.5%
Rio TintoとのJV - Robe River Robe Valley鉄鉱山 West Angelas鉄鉱山	豪	67百万トン [22百万トン]	33%
BHPとのJV - Newman - Yandi - Goldsworthy - Jumblebar	豪	273百万トン [19百万トン]	7%

*上段は100%ベース、下段[]内は当社持分。

当社持分生産量



360° business innovation.



MITSUI & CO.